

2017年度第1回例会 京都支部のこれからを考える

日時 2017年06月24日（土曜日）13:30～16:00
会場 ウィングス京都
司会 高橋侑子
出席者 18名

2017年度。新支部長・役員の下、第1回例会を開催。
支部長挨拶の後、今回のテーマに則して

- DVD「JAUWのあゆみ」鑑賞
- 横浜全国総会の報告
- 懇談

と進められた。

京都支部70周年の節目を迎えるに当たり、今年は原点に立ち返りたいと言う支部長の考え(下記)に沿った内容となった。



松田栄子支部長挨拶(要約)

昨年はJAUW設立70周年でしたが、今年は京都支部の70周年になります。終戦後の高い志、皆の為に働きたいという気高い心と素晴らしい業績に思いを致し、頑張りたいと思います。1980年(昭和55年)に入会して、色々な行事に参加し経験を積めた事を協会に感謝しています。今年は原点に戻って考えたいと思います。



DVD「JAUWのあゆみ」鑑賞

2016年に作成されたDVDで、協会創立当時から現代までの会の足跡と諸先輩方の活躍等が写真を交えて綴られていた。そして今回は、松尾会員が持参して下さった故小野山永子さんより譲り受けたと言う1974年第18回国際会議の写真を収めたアルバムを回覧。会場から当時を懐かしむ声が聞こえた。

そしてDVD鑑賞後、数名に感想をお願いした所、「懐かしい顔が見えた。」「今思うと昔、世間は裕福であった。」「携帯が無かった時代の準備は大変で、方々駆け回った。」「国際会議は大々的でインパクトが強かった。」他、皇太子妃美智子様(当時)をお迎えする際の緊迫した状況等、当時を知る人ならではの貴重な意見を聞くことが出来た。



横浜全国総会報告

5月13日～15日に横浜で開催された2017年度全国総会、及び第6回定時会員総会の報告を松田支部長、松尾会員、中村会員より受けた。出席者総数は総会で126名。うち、京都からの出席は5名。13年前と比べると約半分の規模となった。

○松田支部長

13日の午前の総会に続き、支部長会では役員と各支部長が参加。会計報告等の後、各支部の活動報告となった。所感は支部長会、懇親会共に報告が個々に長かった為テーマ議論が出来ず残念であった。

会計報告の際に問題として挙げたのが経済面の強化。一般社団法人になって12年目からは不動産も財産と見なされる為、年間支出の大幅増となる。それまでに新規会員の獲得等積極的に活動し、体制を整えねばならないとの事であった。

その他として、奨学生のその後の活動を纏めた冊子の作成。ケープタウンにて行われた GWI の会合報告があった。

中村泰子会員

懇親会には24支部が参加。各活動報告で印象的だったものは以下の通り。

東京 社会人大学生志望者を対象にした「チャレンジ奨学制度」の構想。

茨城 出前講座 各大学へ会員が出向き、講座を開講。

札幌 支部を4つに分けて役割分担をする。全会員に役割を持たせる事で積極性を促す。

奈良 例会を全て公開し、地域と密着する。

松尾景子会員

青木玲子前会長のお話が印象的だった。

- ・ IFUW という名称はブランドであるにも関わらず、断りもなく GWI に変更された事は残念である。
- ・ アメリカの弱体化を筆頭に、世界的にも会員数は減ってきている。その上資金援助可能な会員が減り、この会が貧しくなっていく。
- ・ GWI 事務局宛にメールで意見しても反映される事なく物事が決まっていく。やはりツールを介してではなく直接の意見交換が大切である。

廣田輝子会員

本部の委員会の内2つの委員会について。

女性エンパワーメント委員会 若手の会員獲得を目的とする講座、「めげない私」開講予定。京都でも若手の会を考案中。

国際ネットワーク委員会 国際奨学基金から奨学生2名を留学生として日本へ招く。その内の1人が日本文学の研究。京都に来る機会があれば接触を試みる。

懇談

今回の懇談では会と支部が今後やるべき事の提案は勿論、会に対しての個人的な取り組みの姿勢や今後の活動における個人負担の程度等、忌憚ない意見交換が出来た。今後の支部活動にとって貴重な意見を聞く事ができ、有意義な時間となった。

